

令和 4年 7月21日

まちづくり委員会資料

陳情の審査（視察）

陳情第129号 JR稲田堤駅の橋上駅舎工事を安全に進め、
且つ利便性の向上を求める陳情

資料 JR南武線稲田堤駅橋上駅舎化等の工事について

まちづくり局

1 J R 稲田堤駅橋上駅舎化等の工事概要

【駅及び工事の概要】

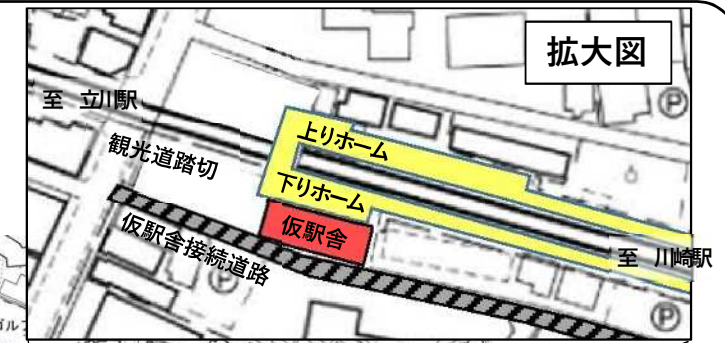
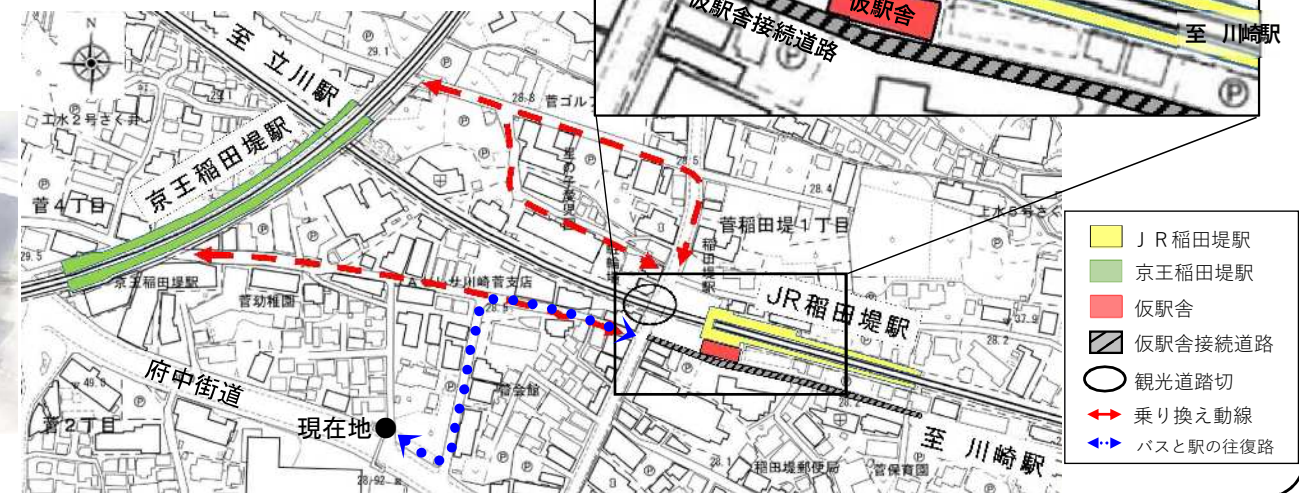
- J R 稲田堤駅の乗降者数は、1日平均39,268人（令和2年度）である。
- 周辺には京王稲田堤駅があり、乗換え駅となっている。
- 本工事は、鉄道による地域分断の改善と踏切を横断する利用者の安全の確保等、駅へのアクセス性の向上に資するため、稲田堤駅の自由通路の整備及び橋上駅舎化を行う。

【これまでの取組内容及び今後の予定】

- 平成24年12月： J R 東日本と基本覚書を締結し事業に着手
- 平成30年7月： J R 東日本と「自由通路新設及び橋上駅舎化に係る工事の施行に関する協定書」を締結
- 令和元年6月： 解体工事着手（工事説明会 令和元年5月）
- 令和2年4月： 本体工事着手（工事説明会 令和2年12月）
- 令和3年6月： 仮駅舎供用（期間は令和5年8月までを予定）
- 令和4年6月： 駅構内新設エレベーター使用開始
- 令和5年度末（予定）： 本体工事完成
- 令和6年度（予定）： その他外構工事（事業完了）

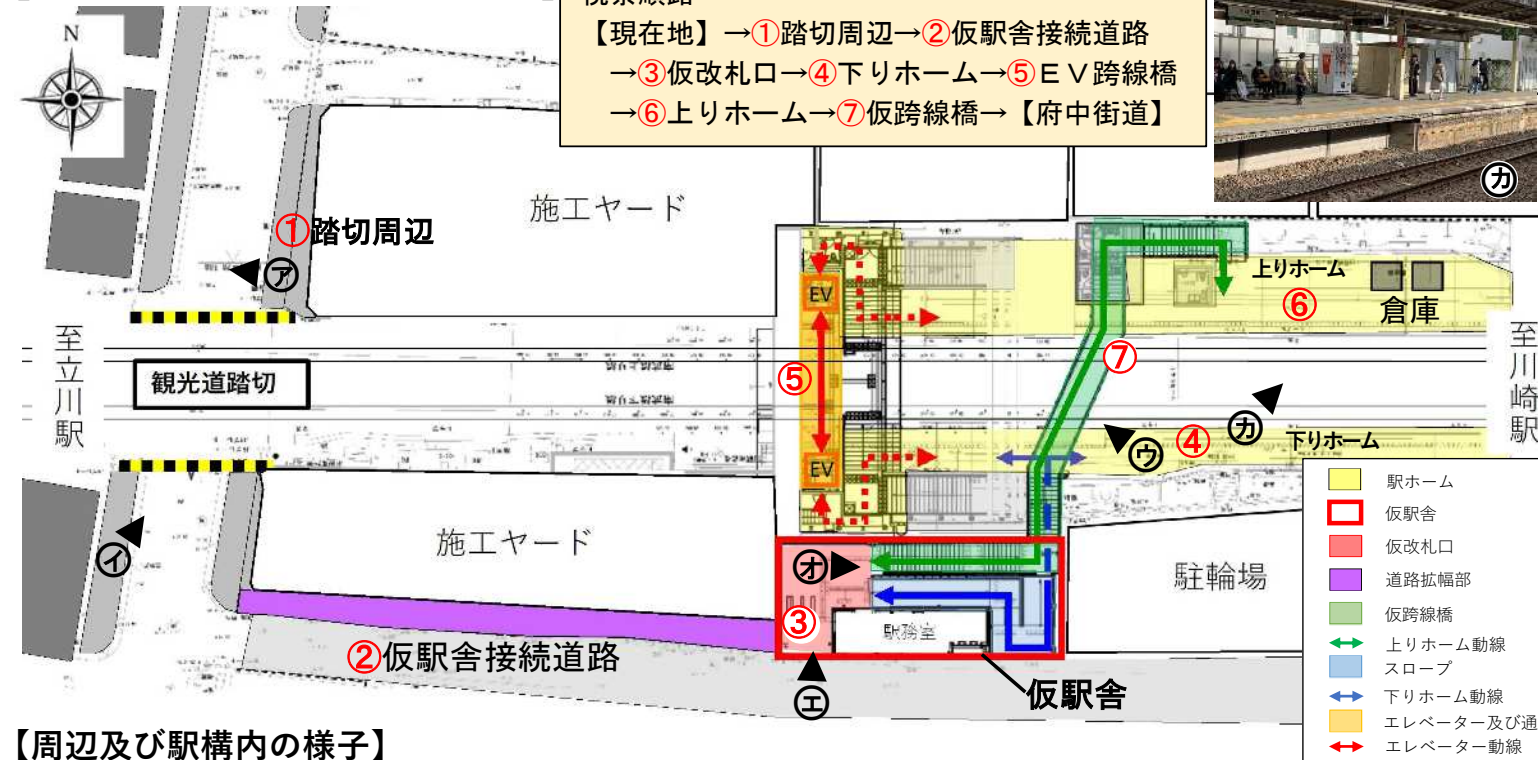


周辺位置図



2 仮駅舎及び周辺の状況

【周辺状況及び駅構内の利用者動線】



【周辺及び駅構内の様子】



3 陳情

＜J R 稲田堤駅の橋上駅舎工事を安全に進め、且つ利便性の向上を求める陳情＞

提出：令和4年6月15日 陳情 第129号

陳情者：多摩区在住者 ほか212名

陳情要旨

J R 南武線稲田堤駅橋上駅舎化工事による仮駅舎利用から1年が経過しましたが、利用者の大混雑は日々続いています。「身の危険を感じる」という声も寄せられています。完成まで、工事が安全に進むように様々な安全対策を強化するとともに、利便性向上のための諸改善を完成後も含め、引き続き進めてもらいたいです。

（陳情内容）

- 1 朝夕のラッシュ時に乗降客が密集してしまう狭い駅の構造を、安全対策として改善すること。
- 2 誘導員を終日配置するなど、改札口前や道路周辺の安全対策を行うこと。
- 3 下りホームに乗降客の妨げにならないような細いタイプのベンチを幾つか設置すること。
- 4 上りホームのスペースが少しでも広がるように、後方空間に物置倉庫を移動させること。
- 5 橋上駅舎完成後、駅前に広場ができるが、踏切は現状と変わらない設計になっている。新しい広場につながる川崎駅寄りの踏切歩道を現状の1.5メートルから4メートルに拡幅すること。
- 6 完成しても多数の乗降客が観光道を横断することに変わりがない。2階駅舎とつながる歩道橋を増設するなど、駅改良の施策を継続すること。